

鈴木産業 結(yui)通信 vol.19

玄鳥至（ツバメキタル）清明の候。とは言え、今年は3月初旬に既に4月上旬の気温上昇、一気に春の陽気となったものの、春分には突然の降雪に見舞われるという寒暖の高低差に一喜一憂する日々でした。そして今、初夏陽気の日中と朝晩の気温差15度前後と激しく転換しています。例年通りにいかないのは気候のみならず、各業界も新年度に当たり価格や仕組等々目まぐるしく変動しています。相変わらずの国内外政治不安・消費生活を揺らすエネルギー料金の値上げ・働き方も生活も流通の仕組も変わりつつある、正に大規模な過渡期に差し掛かっています。2017年度を締め括り、2018年度が始まる今、立ち止まって振り返りも必要ですが、新たな目標を掲げて行くべき目的を真直ぐに見据える事が大前提です。

弊社も昨秋立ち上げた「ライフデザイン・ラボ」の本格的活動が始まります。勿論、エネルギー供給を通じて皆様に豊かな生活を提案提供するミッションはぶれる事なく、本年度も皆様のお役に立てる様に邁進していこうと奮起しておりますので宜しくお願い致します。

代表取締役 渡辺 りつ子

空き家活用のライフデザイン・ラボ WEBサイトをリニューアル



次世代へ、つながる、空き家活用。
ライフデザイン・ラボ

「ライフデザイン・ラボ」では空き家をもっている、あるいは空き家になりそうなご家庭のニーズに寄り添った形でご提案し、より柔軟な解決を目指します。

初期の相談は無料で、状況に合わせたプランをご案内します。相続税の算出や届出書類の作成など実務段階で費用が発生する仕組みになっているので安心です。各所に聞いてまわるとい必要はなく、ひとつの窓口で相談できるのが大きな特徴です。

<http://akiyaspace.com/>



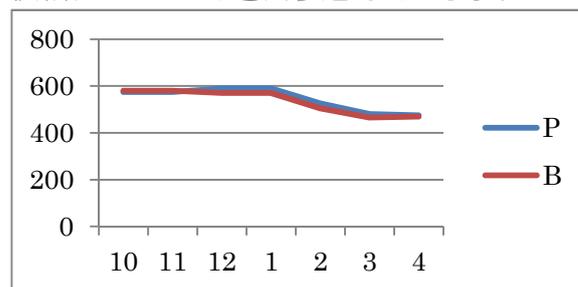
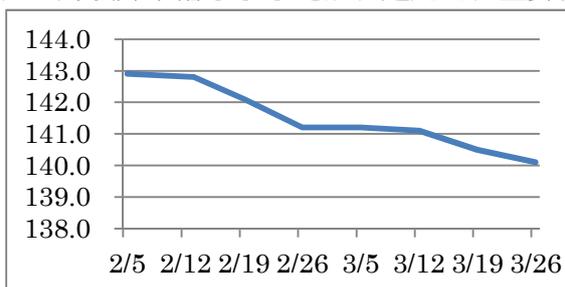
年々負担が増加する再エネ賦課金、2018年は年間9,048円の負担。

2018年3月23日、経済産業省より2018年度の再生可能エネルギー（太陽光発電含む）の買取価格が発表されました。住宅用（10kW未満）は昨年発表通りの26円/kWh、事業用（10kW以上）は18円/kWhです。固定価格買取制度に伴い電気料金に上乗せする再生可能エネルギー発電促進賦課金（再エネ賦課金）の新しい単価も決まりました。1kWhあたり2.90円の負担になり、標準的な家庭の電気使用量260kWh/月で月額754円、年額9,048円の賦課金を支払うこととなります。ちなみに、現行（2017年）の賦課金単価は、1kWhあたり2.64円の負担になり、標準的な家庭の電気使用量260kWh/月で月額686円、年額8,232円の賦課金と試算されます。



燃料価格は下落基調だが…。

石油製品は2月以降下落しましたが、足元では上昇。LPG価格は500ドル/トンを割り込んでいます。



*左:エネルギーガソリン価格の推移(全国石油情報センター) *右:LPG輸入価格(サウジアラムコ社CP)の推移

「ライフネットでんき」 LINE@ に検針票の画像を送ってください!!



「ライフネットでんき」試してみませんか? LINE@に検針票を送ってシュミレーション。

①QRコードから「友だち登録」 ②検針票を撮影 ③LINE@に送信 ④3日以内に返信
「ライフネットでんき」は丸紅新電力、販売:インターネットシステムズで当社は取次店となります。

この人に会いたい! ~次世代に職人技を繋ぐ・ダイヤ精機(株)諏訪社長



昨秋放映のNHK総合TV『マチ工場のオンナ』の原作者で主人公ご本人のあの女性、東京都大田区で、自動車部品用ゲージを製作するダイヤ精機の二代目社長、諏訪貴子氏である。

私自身の経緯と若干被る箇所があって、TVドラマを食い入る様に見た全7回。毎回感動と共感の嵐。著書まで一気に読破した。そして遂に先の2月22日某事務機器フェアで開催された特別講演会でご本人にお目に掛かる機会に恵まれたのだ。題目は「町工場発! 女社長の経営改革と人財改革」正に旬な話題で会場は満員。結婚式等の司会修行をされた経験もあって、大会場に響き渡る美声と歯切れのいい話振り、飽きさせない話題と話題の間取りの上手さは人を惹き付ける話法の勉強にもなる。

そして本題、先代であるお父様が急逝され、突然二代目社長を就任後の十余年、社員の意識改革に始まり、本流である職人技を如何に熟練工から若手に効率的に効果的に継承するか、の仕組作り、銀行や仕入先との基盤固め、そして人財の育成。これが実に緻密に分析・研究され、データベース化され、正確に実行されている事か。しかもそのどれもが諏訪社長ならではの血の通った温かく、面白い仕上がりなのか魅力なのだ。

改めて会社の代表者がやるべき事、やらなければいけない事を気付かされるエッセンスに満ち溢れていた。中でも諏訪社長の素敵な言葉を幾つかお伝えしたい。

『職人技の本流は外しちゃいけない。多能工集団である事!』『大切なことは知恵を出し合う事!』『自社の強味はお客様目線で知る事! 考える事!』『石垣は大小様々な石の組合せで出来ている。会社も同じ!』

そしてお父様が仰った珠玉の言葉『おまえね、ものづくりには終わりはないんだよ!!』

会社再生・経営改革・意識改革・人財改革と、言うは易し、行うは難し。それでも一生懸命、脇目も振らずに邁進されて来たであろう諏訪社長の言葉はそのまま直球で飛び込んで来る。後継者問題が深刻化している昨今、渡す側も引き継ぐ側も必死なのだ。でもバトンを繋いでいくからこそ見えるモノが、バトンを繋ぐ者にしか見えないモノが在ると思う。

本当に有意義で素晴らしいご縁を頂いたと感謝しています。尚、この記事及び写真掲載を許可下さった諏訪社長に心より御礼申し上げます。



〒456-0004 名古屋市熱田区桜田町 20-27

株式会社 鈴木産業

編集:常務取締役 渡邊 裕介

URL <http://szk-sangyo.co.jp/>

TEL 052-871-5161

FAX 052-871-0842

お問い合わせ:y-watanabe@szks.jp